

「和楽」 小品軸装 猗々斎筆



藪内流12代猗々斎宗匠筆の小品軸装で「和楽」となっております。うちとけ楽しむこと、とされる言葉です。

桐箱 高さ約112cm 幅約26cm
¥12,000(税込)

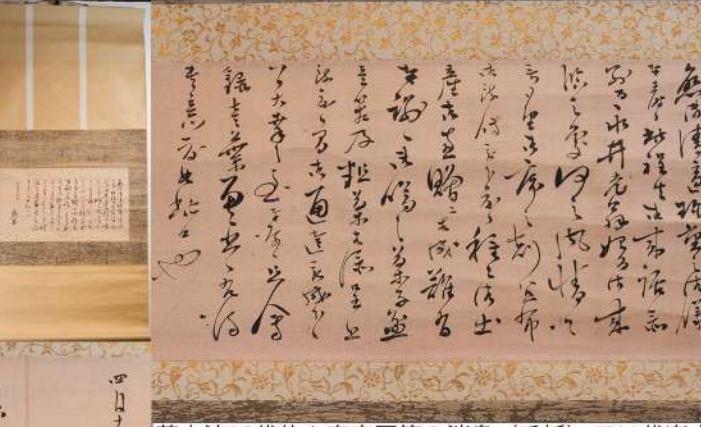
「花紅而柳緑」 青々斎筆



藪内流13代青々斎宗匠筆の横書で「花紅而柳緑」となっております。自然のあるがままの雄大さを示したよく見られる一説ですが「而」という字は「しこうして」と読んだり訓読みでは置き字と呼ばれ読まずに文全体を読まれる文字になります。染み少しあり。

桐箱 高さ約113cm 幅約46cm
¥30,000(税込)

休々斎筆消息 楽慶入宛



藪内流10代休々斎宗匠筆の消息（手紙）で11代楽吉左衛門慶入に宛てたものになります。お茶会のお礼状のようで参加者の喜びをお伝えしていたり菓子盆をほめている内容が見て取れます。藪内家と楽家の交流が見て取れる消息です。読み下し有。

桐箱 高さ約94cm 幅約51cm
¥50,000(税込)

若松画賛 新年歌添え 休々斎筆



藪内流10代休々斎筆の若松画賛です。賛は「新年の一事のはじめの松風は君が言祝（ことほ）ぐ萬代の聲」となっており、新年を祝う歌が添えられています。

桐箱 高さ約107cm 幅約46cm
¥85,000(税込)

寒山拾得画賛 大谷尊融筆 井口華秋画



藪内流11代透月斎宗匠の門弟であり西本願寺21世法主・光尊(明如)の四男である僧侶の大谷尊由筆の寒山拾得画賛となっております。「千林蕭瑟晚風涼 一事同君細較量 轉掃青首黃葉滿斜陽」とあり、林の側吹き荒ぶ風の元で掃き競っていると日が差し行く黄色い葉を照らしてゆく。といった詩のようです。絵を書いた井口華秋は尊由の絵の師であります。

桐箱 高さ約216cm 幅約40cm
¥160,000(税込)

龍の爪に玉画賛 竹猗筆



藪内流8代真々斎竹猗宗匠筆の龍の爪に玉画賛になります。「馬浪三層透 商霖四海蘇」（うろんさんそうをとおししょうりんしかいにそす）と賛がされており、馬とは夏の王朝や王自身の事を指し三層は天界を指し龍がそこから降りてきて商霖（ながあめ）を降らせ四海（四方、周り全ての海）をよみがえらせるといった言葉で、古くは干ばつなどは大変な天災で雨は大変有難いものとされたことを運んでくるとした龍は神獣で吉祥の象徴であったようです。

透月斎識箱 高さ約112cm 幅約48cm
¥150,000(税込)

ご成約済み



竹地紋真形釜 沙村作



竹地紋真形釜で角谷沙村作になります。炉用の釜としてお使いいただけるサイズで道安風炉も大きいものとお使いいただけます。

共箱 直径約21cm 高さ約17cm 口径約10cm
¥38,000(税込)

ご成約済み



天猫鳳凰地紋繰口釜 大西清右衛門識



鳳凰地紋野繰口釜で15代大西清右衛門浄心が天猫釜であると識をしています。天猫釜とは、古く天明村で造られていた鑄物の釜が重宝されていましたがその後「天明」という年号が現れた為混同しないように江戸の初期から後期にかけて作られた古作の釜には「天猫」と称されるようになったそうです。反り返るような繰口(くりくち)となっています。

共箱 直径約26cm 高さ約19cm
口径約14.5cm ¥105,000(税込)



天猫松竹梅地紋甑口釜 大西清右衛門識



松竹梅地紋の甑口釜でこちらも15代大西清右衛門浄心が天猫釜であると識を残しています。目出度い柄で広口の蓋、また甑口(こしきくち)と深めの口をもっています。

共箱 直径約27cm 高さ約18cm 口径約15cm
¥100,000(税込)



日の丸釜 大西浄元作 浄雪箱



釜師の6代大西清右衛門浄元作の古作の日の丸釜で10代の大西浄雪が識をしています。柚子肌がきれいな端正なお釜です。

共箱 直径約23cm 高さ約18cm 口径約9.5cm
¥140,000(税込)

高砂釜 門脇喜平作



高岡の鋳物師、釜師である門脇喜平作の高砂釜になります。翁、媪、鶴、松などが地紋され大変めでたいお釜です。鑲付きは亀で初釜などに。

共箱 直径約23cm 高さ約18cm 口径約12cm
 ¥45,000(税込)

万代屋釜 大西浄雪作 透月斎箱



釜師の10代大西清右衛門浄雪作の炉用の万代屋釜で藪内流11代透月斎宗匠が箱書きをされています。

共箱 直径約21.5cm 高さ約19cm 口径約10.5cm
 ¥120,000(税込)

ご成約済み

日丸鶴絵釜 大西浄長作 休々斎在判・箱



藪内流10代休々斎宗匠好みの日の丸釜で飛んでいる鶴の絵が地紋になっています。13代大西清右衛門浄長の作で16代大西清右衛門の識箱。

共箱 直径約21cm 高さ約18cm 口径約9.5cm
 ¥180,000(税込)

中爪炉五徳 西村道也作 大西清右衛門識箱



古作で名工である西村道也作の中爪炉五徳で15代大西清右衛門浄心の識箱となっております。虫食いの堂々とした見所のある五徳です。

共箱 直径約23cm 高さ約12.5cm
 ¥40,000(税込)

菊桐唐草銀象嵌釜鎖釜釣大鑲 美之助作



菊桐唐草が銀象嵌された釣釜道具で京都の鋳物師の和田美之助の作となっております。

共箱 〈つる〉 縦約24cm 横約22cm
 〈鎖〉 全長約200cm
 〈鑲〉 直径約12cm
 ¥50,000(税込)

ご成約済み

ご成約済み

ご成約済み



清水焼木瓜紋散らし水指



古い手の清水焼の木瓜紋散らしの水指になります。小ぶりでも可愛らしく絵付けも大変細かくされています。古清水というには新しく古清水は仁清期～奥田頼川の作域まで、時代でいうと明暦から寛政のころまで。粟田焼、岩倉山、音羽山などの焼を指します。

桐箱 直径約14cm 高さ約15cm
¥40,000(税込)

ご成約済み



伊賀丸水指 土楽作 伝衣和尚箱



伊賀焼の丸水指で土楽という陶工の作で大徳寺四百八十八世管長である円山傳衣和尚（1940年寂）の箱書きとなっております。発色の良い伊賀の水指です。

共箱 直径約20cm 高さ約16cm
¥70,000(税込)

ご成約済み



信楽大耳付水指 銘「福神」透月斎箱

藪内流11代透月斎宗匠が「福神（ふくのかみ）」とされている信楽焼の耳付大水指になります。銘はやはり恵比寿様でしょうか。大きなお体に大きな耳の縁起の良い神様です。

共箱 縦約30cm 横約32cm 高さ約27cm
¥80,000(税込)



藪内好み洲浜形信楽灰器 豊田木元作

藪内流好みの灰器の形である洲浜形の信楽灰器で藪内流の門人で陶芸家であった豊田木元の作となっております。

共箱 縦約19cm 横約22cm 高さ約5cm
¥30,000(税込)



玉川焙烙 楽旦入作 透月斎箱

楽家10代旦入作の玉川焙烙（灰器）で藪内流11代透月斎宗匠の箱となっております。玉川焙烙とは本歌は玉水焼の灰器であり、山吹の名所にちなみ玉川の水の流れに山吹の花の押型がほどこされた素焼のものになります。

共箱 直径約18cm 高さ約6cm
¥80,000(税込)

ご成約済み



真鍮釜環 中川浄益作

真鍮釜環で鋳物師である6代中川浄益の作。藪内流の流儀型も真鍮環ですが千家流ではあまり現在は炭点前では真鍮環は使われず水屋用途が多いようです。江戸後期頃の作になります。

共箱 直径約8cm
¥20,000(税込)

備前火襷筒花入 藤原雄作



備前焼の人間国宝である藤原雄作の備前焼火襷筒花入になります。

共箱 直径約9cm 高さ約22.5cm
¥24,000(税込)

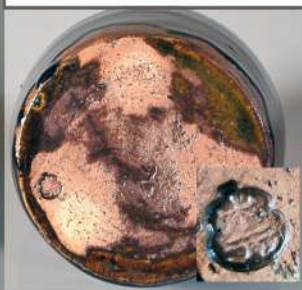
靈芝画掛花入 伝衣和尚筆



大徳寺四百八十八世円山伝衣画の靈芝が描かれた掛花入れになります。靈芝は日本ではサルノコシカケと呼ばれる茸で不老長寿の妙薬として言い伝えられてきました。

共箱 直径約13cm 高さ約10cm
¥20,000(税込)

朝鮮唐津花入 豊田木元作 青々斎箱



豊田木元作の朝鮮唐津花入れで藪内流13代青々斎宗匠の箱となっております。朝鮮唐津は唐津焼の一種で、黒釉と白釉をかけ分けた作品を指します。黒釉は鉄分を含む「鉄釉」であり、白釉は乳濁する「藁灰釉」が使われています。

共箱 直径約9cm 高さ約20cm
¥35,000(税込)

竹船花入 銘「石公」 休々斎作



藪内流10代休々斎宗匠作の竹船花入れで銘を「石公」となっております。「石公」とは画題でも使われる黄石公の事をさし中国秦末の仙人で張良に太公望の兵書を授けたとされる人物です。張良は前漢を興した劉邦の軍師になります。賢人からの教えといった意味を持つようです。

共箱 直径約9cm 長さ約29cm
¥80,000(税込)

桂隠斎作一重切花入 銘「力若」



藪内流7代桂隠斎竹翁宗匠作の一重切花入れで銘を「力若」とされています。「力若」とは『大塔宮職鑑』(おおうのみやあさひのよろい)という人形浄瑠璃および歌舞伎の演目のひとつに登場する自分の命を主君の為になげうつ忠義の武士である力若丸の事のように。竹根部が見える力強い花入れです。

時代箱 直径約13cm 高さ約25.5cm
¥135,000(税込)

藪内流好天目台 遠坂宇兵衛作 休々斎箱



古くは藪内流の塗師である遠坂宇兵衛作の藪内好みの天目台で藪内流10代休々斎宗匠が「家伝のうつし」と箱書きをされています。桐箱に虫食いあり。

共箱 直径約17cm 高さ約10cm
¥50,000(税込)

竹節銅蓋置 慶州作



彫金師の井波慶州作の竹節銅蓋置になります。竹節の形に笹の葉の透かしが入った蓋置です。

共箱 直径約5cm 高さ約4.5cm
¥20,000(税込)

色絵立雛図蓋置 高野昭阿弥作



京焼の高野昭阿弥作の色絵立雛図蓋置になります。桜の形に立雛が描かれた可愛らしい蓋置です。

共箱 直径約5.5cm 高さ約5cm
¥15,000(税込)

三鈴蓋置 9代大樋長左衛門作



9代の大樋長左衛門作の三鈴蓋置になります。三つの鈴が合わさった蓋置で振ると本物の鈴のように音が鳴ります。

共箱 直径約6cm 高さ約5cm
¥25,000(税込)

唐銅分銅蓋置 村田耕閑作 集翠庵箱



古くは藪内流の鋳物師であった村田耕閑作の唐銅分銅蓋置になります。ずっしり重みのある蓋置で藪内流の門人であった集翠庵の箱となっております。

共箱 直径約5cm 高さ約4.5cm
¥38,000(税込)

海老絵三宝蓋置 九谷永寿作 透月齋箱



九谷の矢口永寿作の海老の画三宝蓋置で藪内流11代透月齋宗匠の箱となっております。三宝は折敷と呼ばれるお盆の下に台がついた形をしておりその胴に三方向の穴が空いていることから三方・三宝と呼ばれます。

共箱 縦横約5.5cm 高さ約4.5cm
¥40,000(税込)

銅印蓋置 真々齋箱 笹田忠八郎作



幕末明治の釜師である笹田忠八郎作の銅印蓋置になります。藪内流8代真々齋竹猗宗匠の箱で「家傳の形」と書かれています。

共箱 縦横約4.5cm 高さ約5cm
¥50,000(税込)

辰香合 青々齋在判



敷内流13代青々齋宗匠在判の干支の辰香合になります。

紙箱 縦約4.5cm 横約7cm 高さ約6cm
¥10,000(税込)

ご成約済み



湊焼龍の字尻香合 猗々齋在判



湊焼の辰の字尻香合で敷内流12代猗々齋宗匠の在判となっております。2点あり1点は在判、1点は金箔が振られています。楽家3代目道入の弟道楽が現在の堺市湊で開いた道楽窯が『湊焼』の始まりとされています。湊焼は、その後弟子が受け継ぐも明治時代に廃窯となり、一度は再興したものの、結局昭和51年2代目新平の逝去により途絶えてしまいます。

紙箱 縦約6.5cm横約5cm 高さ約2.5cm
花押有¥18,000(税込)花押無¥5,000(税込)



荘子香合 9代大樋長左衛門作



9代大樋長左衛門作の荘子香合になります。荘子とは紀元前3世紀の中国戦国時代の思想家で道教の始祖の一人とされる人物であり、胡蝶の夢という、夢の中で蝶として飛び目が覚めたがはたして自分は蝶になった夢をみていたのか、それとも実は夢でみた蝶こそが本来の自分であって今の自分は蝶が見ている夢なのか、といった逸話で「無為自然」説いています。

共箱 縦横約5cm 高さ約3.5cm ¥28,000(税込)



雪花香合 永楽善五郎作 透月齋箱



14代永楽善五郎得全作の雪花香合で敷内流11代透月齋宗匠の箱となっております。八角の香合に呉須の雪花が描かれています。

共箱 縦横約7cm 高さ約4cm
¥80,000(税込)



金毛閣香合 紫野焼 休々齋箱



古くは大徳寺の門前で焼かれ大徳寺の御用窯として焼かれるようになった紫野焼の金毛閣香合敷内流10代休々齋宗匠の箱となっております。大徳寺山門の金毛閣のことで金毛とは禅語の「金毛の獅子」から引用した言葉で修業を積み何事にも動じない優れた禅僧をさします。

共箱 直径約6.5cm 高さ約2.5cm
¥50,000(税込)

蛤香合 猗々斎在判・箱



藪内流12代猗々斎宗匠在判・箱の蛤香合となっております。貝の線傷には銀彩で波の蒔絵の補修がされています。

共箱 縦約8.5cm 横約10.5cm 高さ約5cm
¥38,000(税込)

ご成約済み

兜巾茄子香合 清風与平作



京焼の陶工である清風与平作の兜巾茄子香合になります。兜巾（ときん）とは修験道の山伏がかぶる小さな布製のずきんの事です。呉須の茄子の絵付けの可愛らしい香合です。

共箱 縦横約3.5cm 高さ約6cm
¥40,000(税込)

稲荷焼鈴香合 12代楽弘入補



稲荷焼の鈴香合で楽家12代弘入が下部を補って香合としています。上部は稲荷の土を使った香合になります。

共箱 直径約7.5cm 高さ約9cm
¥65,000(税込)

おきあがり香合 透月斎手造り



藪内流11代透月斎宗匠自作のおきあがり香合です。底には「竹窓」の印があり、だるまの形をしております。形の近いものに京都の吉田神社のだるまみくじがあります。

共箱 直径約5cm 高さ約6.5cm
¥85,000(税込)

ご成約済み

ご成約済み



帛紗棚



藪内流好みの3段棚で青漆妻紅の帛紗棚になります。中棚の客付が斜めに切られて三角形であるところからこの名が付けられ、藪内十八種棚の一つに数えられます。

紙箱 縦約26cm 横約29cm 高さ約45cm
¥55,000(税込)

ご成約済み



茶筆筒 藪内家伝の形 青々斎在判



藪内流13代青々斎宗匠の在判の藪内流好みの茶筆筒になります。摘まみの部分が回転式で開くようになっており炉用の茶棚とされます。

紙箱 縦約26.5cm 横約38cm 高さ約45.5cm
¥120,000(税込)



壺蘆棚



藪内流7代桂隠斎竹翁宗匠好みの壺蘆棚になります。壺蘆棚は西本願寺文如上人の居間であった胡蘆庵の欄間の透かし彫りを拝領し考案された台目棚です。

紙箱 縦約45cm 横約87cm 高さ約55.5cm
¥165,000(税込)



遠山絵枠付き風炉先 原在中画



原在中の遠山絵が表装された枠付き風炉先になります。原在中（はらざいちゅう）は江戸後期、京都のひとで研究熱心なことから円山四条派、土佐派、岸派など様々な所で学び原派という一派を確立しました。

紙箱 横約93cm 高さ約72.5cm 厚さ約2cm
¥40,000(税込)

ご成約済み



菊蒔絵黒塗炉縁 中村宗哲作



菊蒔絵の黒塗炉縁で塗師である9代の中村宗哲作となっております。

共箱（箱に割れあり） 縦横約42cm 高さ約7cm
¥40,000(税込)



樺炉縁 長以作 透月齋箱



古くは藪内流の指物師であった松村長以作の樺炉縁になります。藪内流11代透月齋宗匠の箱で「蔭齋庵古材、龔雲閣にて、」とあります。

共箱 縦横約42.5cm 高さ約6.5cm
¥58,000(税込)



かるた蒔絵炉縁 透月齋箱



藪内流11代透月齋宗匠の箱でかるた囲炉裏縁となっております。近代的な洒脱な衣装で大変話題になる炉縁です。塗師は不明。

共箱 縦横約42cm 高さ約7cm
¥100,000(税込)

ご成約済み



応量器形建水 蔵六造 透月齋箱



応量器形の建水で藪内流11代透月齋宗匠が「無憂園旧蔵、蔵六作」としてしています。応量器（おうりょうぎ）とは、禅宗の修行僧が使用する個人の食器のことで鉄鉢（てっぱつ）ともよばれ藪内流の好みの建水の形にもなっています。

共箱 直径約16cm 高さ約9cm
¥60,000(税込)

ご成約済み



青漆丸盆 橋口宗栄作



藪内流の塗師である橋口宗栄作の青漆と朱漆の使われた丸盆になります。使いやすい干菓子器盆です。

共箱 直径約22.5cm 高さ約2cm
¥25,000(税込)

ご成約済み



朱刷毛目菱盆 春海商店謹製 休々斎箱



藪内流10代休々斎宗匠の箱で倣古形（古い形に倣う）とされた朱刷毛目の菱盆になります。大阪の道具商であった春海藤次郎、春海商店の謹製となっております。雛祭の茶会などの干菓子器にお使いいただけます。

共箱 縦約24.5cm 横27.5cm 高さ約2.5cm
¥50,000(税込)

ご成約済み

ご成約済み

祥瑞写し鉢 大吉窯 猗々斎箱



京焼の大吉窯作の祥瑞写しの平鉢で敷内流12代猗々斎宗匠の箱となっております。菓子器、懐石の炊合せや香の物鉢などにも用途の広い鉢になります。

共箱 直径約22.5cm 高さ約7cm
¥20,000(税込)

ご成約済み

日の丸霰鉄瓶



霰地紋の日の丸鉄瓶となっております。銀摘まみの良い蓋が添っています。

共箱 縦約16cm 横約19cm 高さ約22cm
¥35,000(税込)

桜地紋南部鉄瓶



桜地紋の南部鉄瓶です。南部鉄瓶は弦の付け根に違いがあり、弦側が二方から接合していることが決まりとなっております。

箱無 直径約18cm 高さ約20cm
¥30,000(税込)

ご成約済み

鉄鎌釣 古道弥作 大西清右衛門箱



釣釜用の弦で14代大西清右衛門浄中が元禄年時代古道弥作と箱書きをされています。古道弥は西村道弥の事を指します。

共箱 縦約21cm 高さ約23cm
¥20,000(税込)

ご成約済み

ご成約済み

ご成約済み



乾山写 松葉瓶掛 永楽善五郎正全作

乾山写しの松葉絵瓶掛で15代永楽善五郎正全作になります。灰を入れて鉄瓶や銀瓶を掛ける瓶掛に。待合や水屋にもお使いいただけます。

共箱 五徳付き 直径約30cm 高さ約21cm
¥40,000(税込)

ご成約済み



玉の画手あぶり 透月斎歌・箱

數内流11代透月斎宗匠筆の玉の画手あぶりです。表面は一閑張の様になっておりその上から透月斎宗匠が墨で玉の画と歌を添えられています。

共箱 縦約20cm 横約22cm 高さ約19cm
¥50,000(税込)